



# 日本共産党 三郷市議団の 一 般 質 問

## ヤングケアラーの 早期発見と支援の推進を

工藤 ちか子



政府は、ヤングケアラー支援に関する法律上の位置付けがないこと。自治体において、相談窓口を含む支援体制の取り組みにばらつきがあるとして「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」において、ヤングケアラー支援の強化に係る子ども・若者育成推進法を改正し令和6年6月に施行しました。

工藤議員は、早期発見が何より重要であり、学校や福祉関係者との連携が求められるとし、改正内容に示された年1回の調査を実施するよう求

めました。また、支援にあたってはご本人はもちろんのことご家族の意向を尊重し、見守りや継続的な働きかけを含め個別計画を関係者（専門員の配置など）と共有しながら実施するよう求めました。

\*ヤングケアラーとは「家族の介護その他の日常生活の世話を過度におこなっていると認められる子どもや若者」

その他：教員の多忙化問題、自転車が安心して走れるまちづくりなど

## 子どもの 居場所づくりについて

紺野 伊久子



2026年度児童クラブの待機児童はゼロですが、昨年行った「子ども・子育てアンケート」では、夏休みの児童クラブを利用したいという家庭は、高学年でも56.1%、3年生でも36.1%という結果が出ています。また自由記載では、猛暑の中、家庭で過ごすことが多く、小学生から中学生も利用できる児童館や図書館が欲しいと要望されています。

夏休みなど猛暑の中、過ごせる図書室付きの児童館を増設してほしい。特に東町・鷹野・三郷中央駅付近は児童館がないが子どもの居場所についてどう考えるか質問しました。

担当部長は、児童館建設

は当面難しい。におどりプラザの研修室を使つての移動児童館を実施。鷹野文化センターは、遊戯室を開放している。高州地区センターはロビーと工作室も開放するという回答でした。しかし移動児童館は、毎日開いているわけではなく、工作などのイベントのみで、子どもの居場所としては、専用施設があって専門家が常駐していることが重要です。子どもの足で、歩いていける距離に児童館を増やしてほしいと要望しました。

その他：後期高齢者の資格確認書の発行・学校給食に地産地消の有機野菜を取り入れるために小学校からの自校方式の給食を！など

## 一人暮らしの高齢者の 将来の不安を安心へ

深川 ともか



身寄りのない高齢者が、認知症になった場合や亡くなった後の手配などを支援する民間サービスが増えていますが、強引な契約や高額な解約費などでトラブルになるケースもあるといわれています。

このような中、ふじみ野市（人口約11万人）などの社協では一人暮らしの高齢者が元気なうちに社協と契約することで、単身高齢者の終活を支えています。

内容は入院時の手続きなど「事務委任」、葬儀・納骨や家財処分など「死後事務委任」や電話や訪問での「見守り」

などです。社協が全面に出てやっていくという安心感が一番の特徴だといいます。

深川議員は安心して年をとることができる三郷市であってほしいと訴え、身寄りのない高齢者への支援について市の考えを質問しました。

福祉部長は、国の動向を注視するなど答弁しました。

その他に就学援助の充実、ヒアリンググループの設備の設置、都市公園のトイレ・ベンチの更新を要望しました。



## 補正予算に賛成

補正予算の総額は約22億6千万円となりました。主な内容は、人事院勧告による市職員の給与引き上げと国の物価高騰交付金を財源にした事業です。

- ① 民間保育所・認定こども園等への支援補助金  
食材費：こども1人当たり3,400円など
- ② プレミアム率30%のデジタル商品券の発行  
1口1万円で13,000円分  
1人5口まで（利用期間8月から12月）
- ③ 都市下水路維持管理事業：道路空洞調査  
八潮市の道路陥没事故をうけて戸ヶ崎・高州地区の都市下水路の一部区間の道路空洞調査を4月頃から順次実施

## 市議会常任委員会を 3つに再編

市議会は4つの常任委員会から3つの常任委員会に再編し6月議会から運営することといたしました。以下常任委員会の名称と委員（◎委員長 ○副委員長）

	新政会	21世紀	公明党	共産党	創政	無所属
総務常任委員会	武居弘治 宇治由紀子 沖原優子	◎柳瀬勝彦 菊名 裕	○西村寿美枝	深川智加	鈴木優作	
福祉教育常任委員会	◎寺沢美紗 竹内嘉洋	○柴田吾一	鈴木深太郎	工藤智加子	高橋誠一 日高千穂	篠田隆彦
建設経済常任委員会	佐々木修 西尾秀貴	渡邊雅人	◎鳴海和美 桑原洋昭	紺野伊久子	○佐藤裕之	